

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-653-3389

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業86年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

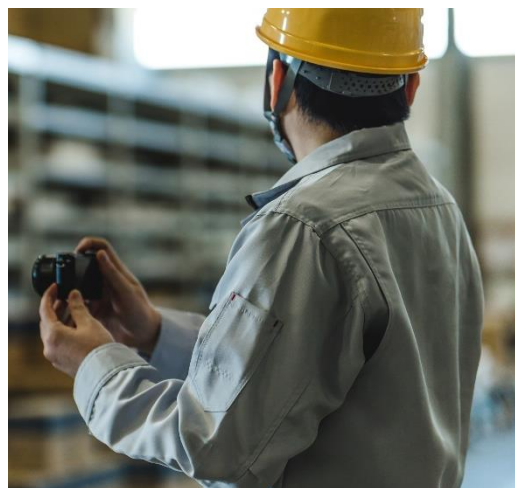
工場・倉庫の「建物診断」とは？

「建物診断」をご存知でしょうか？

「建物診断」とは、築20～30年以上を経過している施設、旧耐震の施設、建築基準法に準拠していない施設に、建物の調査・診断を行い、最適な改善策を提案する手法です。

近年、築20～30年を経過した工場・倉庫のリフォーム件数が増えたことを理由に、この「建物診断」が注目を集めています。

今回は「建物診断」について詳しくご紹介します。



建物診断イメージ

「建物診断」とは？

「建物診断」には、建物の劣化度合いを調査する「劣化診断」、建物の躯体や設備機器の耐震性を診断する「耐震診断」、建物のエネルギー消費量を評価する「省エネ診断」などがあります。

「建物診断」費用は、60～150万円が相場です。診断期間は約2カ月、1級建築士などの資格者が診断を行います。

「建物診断」の結果、不適合箇所が見つかった場合は、建物・設備の改善が必要となります。

では、建物・設備の改善事例について詳しく見ていきます。

工場・倉庫建築専門店「ハコボン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、高村)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-653-3389

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

失敗しない工場・倉庫の建物・設備更新とは？

建物・設備のリフォーム統計

全国統計では、事務所や工場・作業場、物販店舗の内装工事が最も多く、次いで、建具、屋根、外装のリフォーム・リニューアル工事が多くを占めています。

劣化や壊れた部位の更新・修繕工事が全体の約79%を占めています。100万円未満が最も多く、次いで100～1,000万円未満の工事が多くなっています。

建物・設備のよくある失敗例

建物・設備リフォームで最もよくある失敗は、「また、建物・設備の修理をしなければならなくなった」というケースです。

建物・設備の老朽化・破損の修理は、新設に比べると費用もかかりません。一見安く仕上がったように見えますが、その場しのぎに過ぎないと言えます。

特に、築20～30年を経過した建物・設備は、今後も老朽化が進みます。将来的には補修ではなく建替え・買い替えが必要になります。

建物・設備更新の考え方

失敗しない工場・倉庫経営のポイントは、運営上、投資が必要なものに対して、本業の経営に投資を回すために、建物・設備にかかる投資やトータルコストをできる限り抑えることが大切です。

補助金活用や生産ライン改善は、トータルコスト削減のポイントです。ぜひ、皆さまも「建物診断」のご活用を検討いただけますと幸いです。

工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはこちら



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、高村)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-653-3389

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-653-3389迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで